

論文提出時のチェックリスト

提出日	年	月	日
提出者氏名			
論文表題			

I. 論文投稿の前に、下記に従い原稿を確認し、オンライン投稿/査読システムの画面案内に従って投稿してください。本チェックリストのアップロードは不要です。尚、該当しない項目に関するチェックは不要です。

- 1. 原稿の内容は、他の出版物にすでに発表、あるいは投稿していない。
- 2. 筆頭著者、共著者共に本学会会員、または会員申請中である。
- 3. 北日本看護学会誌投稿規程に沿って記述している。
 - 希望する原稿の種別と原稿枚数が適切である。
 - 原稿はA4判横書きで、800字(25字×32行)で記述している。
 - 図、表など、1つを400字程度とみなしている。
 - 図、表など挿入希望位置を本文に朱書きしている。
 - 文献の記載様式は投稿規程に従って本文の引用箇所の肩に文献ナンバーを括弧表示している。本文の文献ナンバーと文献リストの著者、年次、内容が一致している。文献の著者名は3人まで表記している。文献リストは、引用番号順に記載している。
- 4. 400字以内の和文要旨をつけている。
- 5. 原著、研究報告、短報の場合は300words以内の英文要旨をつけている(全ての論文の種類で英文要旨の記載可)
- 6. 和文要旨と英文要旨の内容があっている。
- 7. 英文タイトル・英文要旨について、native checkを受けている。
チェック者・機関名
- 8. 要旨には原則として、目的・方法・結果・結論を記載し、それぞれにつき簡潔に述べられている。
- 9. 論文原稿(正本・副本各1部)は以下のものを、一つのファイルにまとめている。
 - 和文要旨：通し番号はつけない。
 - 本文：改頁をして、通し番号は第1頁から。
 - 文献：項目のみとし(文献と記載)、頁の通し番号は本文に続ける。
 - 表(Table)：頁番号はつけず一頁に1点とする。
 - 図(Figure)：頁番号はつけず一頁に1点とする。
 - 英文要旨：通し番号はつけない。
- 10. 副本原稿は、投稿者を特定できるような事項を伏せている。
 - 倫理審査機関名
 - 謝辞のうち個人や機関が特定できる文字
 - 研究発表をした学術集会名
 - 助成金の名称や番号
 - その他、所属や研究施設が特定できる事項

II. 倫理的配慮について

- 1. 研究の実施において倫理的配慮をしている。
 - 研究対象者(協力者)に研究内容および研究結果の公表について説明し、承諾を得ている。
 - 他者の尺度や質問紙を使用する場合、著作者から承諾を得ている。
 - 研究への参加により、研究対象者(協力者)に不利益や負担が生じないように配慮している。
- 2. 論文記述において倫理的配慮をしている。
 - 倫理的配慮については、本文中に具体的内容を記載している。また、倫理審査を受けた機関については、正

本において正式名称および承認番号を記述している。

- 論文中に研究対象者（協力者）から研究参加の承諾を得る方法や内容に関する記載がある。
- 他者の尺度や質問紙を使用した場合、著作者からの承諾に関する記載がある。
- 論文のすべての個所において研究対象者（又は、協力者）の氏名や所属、研究施設等が特定できないように処理されている。
- 研究対象者（協力者）の特定につながる固有名詞は使用していない。
- 他の文献から図表や本文を引用する場合には、忠実に引用し出典を記載している。

III. 利益相反（COI）について

- 学会提出用のCOI 申告書（様式2）を筆頭著者に限らず共著者も含めて著者一名につき1枚を提出している。
- 利益相反に該当する場合は、その内容を論文に記載している。
- 利益相反に該当しない場合は、利益相反がない旨を論文に記載している。

IV. オーサーシップについて

- 共著として氏名を記載する場合は、著者資格として、下記の4つのオーサーシップの条件をすべて満たしている。
 1. 研究設計，データ収集および分析への多大な寄与
 2. 知的側面から重要な内容の執筆および修正
 3. 論文投稿前の最終検討および承認
 4. 研究の正確性や信憑性を充分検討し、問題がないことを保障するために「研究に関する全ての面」で責任を持つことに対する合意